

農村工学技術研修の開催

技術移転部技術研修室

1. 農村工学基礎技術研修（第2回）の実施

農村工学基礎技術研修（第2回）を9月24日（火）～11月19日（火）の期間、参加人数26名で実施しました。

本研修は地方農政局等に採用された入省2～3年目程度の職員を対象として、農村工学に関する基礎学力、基礎技術、基礎知識を習得し、農業農村整備事業に携わる若手職員としての資質向上を図ることを目的として実施されます。

約2か月（8週間）の研修期間のうち、座学部分はオンライン研修（3週間）とし、実験・実習部分は集合研修（5週間）のハイブリッド形式で実施しました。

研修では、数学、水理学、構造力学、鉄筋コンクリートの設計、擁壁の安定計算等の座学の研修に加え、測量実習、水理実験、土質試験、コンクリート試験などの現地実習を行いました。

2. 農村工学専門技術研修（経済効果Ⅱ.実践演習）の実施

11月18日（月）～22日（金）の期間、参加人数26名（国8名、県11名、土地連7名）で実施しました。

本研修は効果算定・分析・評価に係る専門的知識の修得により指導的役割を担える技術者としての能力向上を図ることを目的として実施されます。

研修では、費用対効果分析の理論、効果算定演習のためのガイダンス及び効果算定演習、演習結果のとりまとめ、意見交換、発表等を行いました。

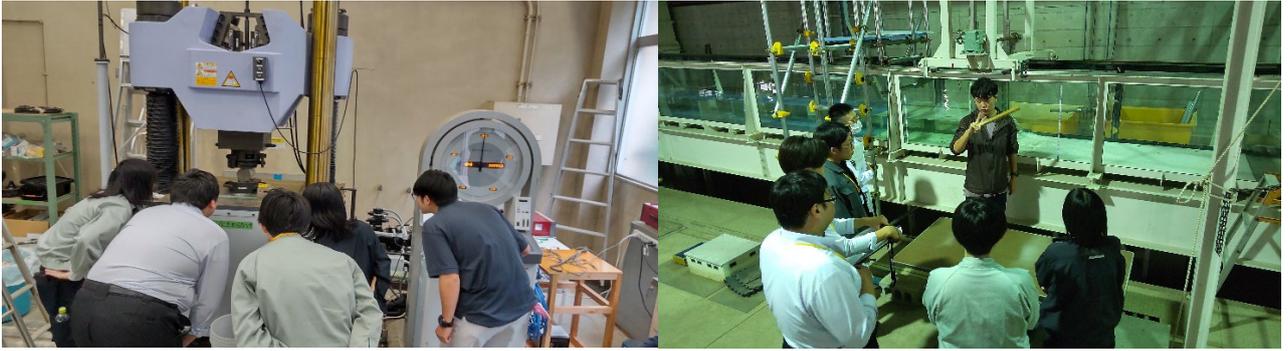
3. 農村工学中堅技術研修の実施

11月25日（月）～12月6日（金）の期間、参加人数22名（国7名、県11名、土地連4名）で実施しました。

本研修は国、都道府県、独立行政法人、都道府県水土里ネット等の職員であって農村工学関係の業務に7年程度従事している者を対象として、農業農村整備に関する技術・知識を付与し、職員の資質の向上を図ることを目的として実施されます。

2週間の研修期間のうち、座学中心の1週目はオンライン研修とし、実験・実習を行う2週目は集合研修で実施するハイブリッド形式で実施しました。

研修では、農工研の研究職員から各々の研究テーマに関する内容の講義をオンライン研修で行い、集合研修では水理実験、つくば市内の研究機関見学、国営事業実施地区の現地研修、ワークショップによる合意形成などの実習を行いました。



実習状況